

セミミックスドリァリティ ディスプレイ

道路環境の課題（例：日本の道路）

- 日常の運転時には、高い注意力を求められるシーンがある



幹線道路では、道路沿いに店舗の看板が多くあり、目的地が探しづらい



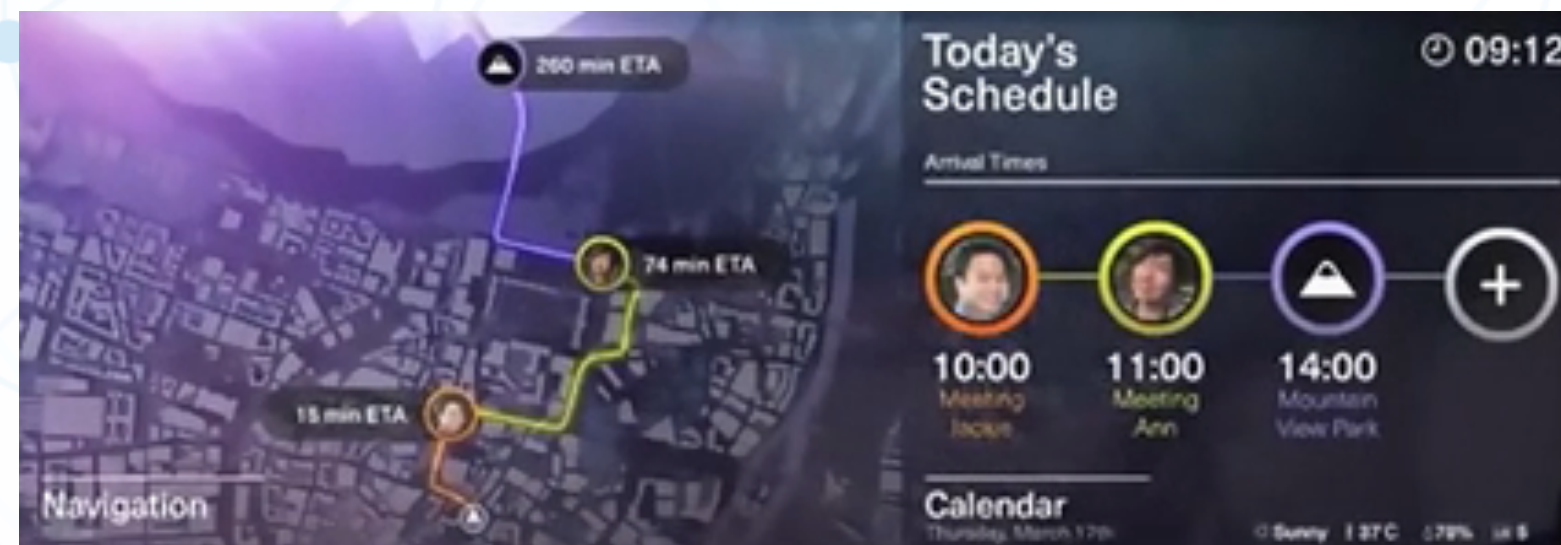
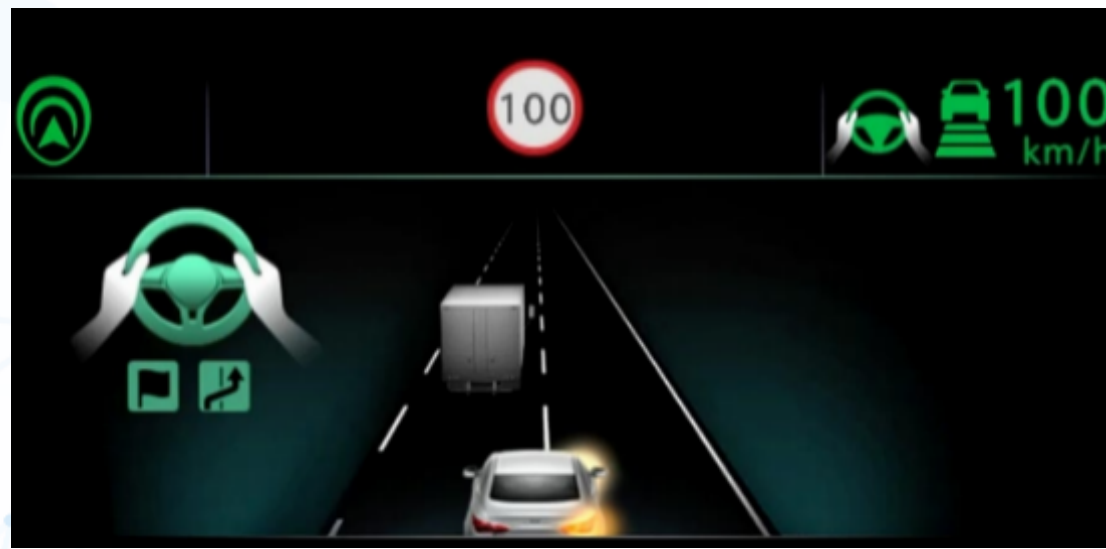
都市部では、高いビルに遮られて目的地を探しづらい



狭い住宅地では、車両前方の状況が分かりづらい

ドライバーに提供する情報量の増加

- プロパイロットなどの運転支援機能やコネクテッドサービスの進化により、今後ドライバーに提供する情報量が更に増える



セミ ミックスド リアリティ ディスプレイ 技術

- ドライバーが必要な情報を、実際の風景に重層的に重ね、適切なタイミングで提示する技術の開発を進めている。
- 実現に向けた最初のステップとして、外界とコックピットの境界を横長ディスプレイで繋ぎ、車内外のカメラの情報を用いて、情報表示する「セミ ミックスド リアリティ ディスプレイ」を開発している

実像上に駐車場やレストラン等のドライバーが欲しい情報を状況に応じて表示する



セミミックスドリアリティ ディスプレイ

大画面における直観的な操作

- 画面のワイド化に伴い、タッチ操作やスイッチ入力には限界が生じる。将来の自動運転化を踏まえ、ジェスチャーや視線、音声による直観的な操作を可能とする技術開発を進めている。



The logo features the word "NISSAN" in a bold, black, sans-serif font. To its right is a stylized blue icon consisting of three curved lines. This is followed by the word "INTELLIGENT" in a bold, black, sans-serif font, and finally the word "MOBILITY" in a bold, black, sans-serif font with a large, stylized "M".

NISSAN  INTELLIGENT **MOBILITY**